

本州四国連絡高速道路（株）入札監視委員会 審議概要

開催日及び場所	令和7年2月10日（月） 本社11階 会議室	
出席委員	友 廣 隆 宣（弁護士） 八 木 知 己（大学教授） 淵 川 和 彦（大学教授）	
審議対象期間	令和6年4月1日～令和6年9月30日	
抽出案件	抽出案件 4 件	件名
条件付一般競争	2 件	・令和6年度管理図CADデータ作成業務 ・令和6年度神戸管内トンネル誘導表示設備他更新工事
公募型プロポーザル	1 件	・神戸管内陸上部橋梁（淡路IC～津名一宮IC間）耐震補強設計業務（その1）
グループ会社契約	1 件	・令和6年度坂出管内長大橋機能保全業務
	意見・質問	回答
委員からの意見・質問、それに対する応答等	・別紙のとおり	・別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	・意見の具申又は勧告はなかった。	

意見・質問	回答（説明を含む）
<p>①入札方式別発注業務について説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特になし</li> </ul>	
<p>②指名停止等運用状況について説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特になし</li> </ul>	
<p>③条件付一般競争（令和6年度管理図CADデータ作成業務）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 落札率が低くなった理由を確認したい。</li> <li>・ 人が余っているから安いということなのか。</li> <li>・ 競争参加資格要件の「土木設計」の認定を受けている者というのは、会社としてそういう業務を行っているという意味で、CADオペレータの質の話ではないのか。</li> <li>・ 令和4年に同様の業務を受注した際も落札率がかなり低かったようだが、業務の質的に問題は無かったのか。</li> <li>・ 今回も落札率が低いため、予定価格の計算が本当にこれでいいのか、説明がほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 低入札価格調査の中で、受注者はCADオペレータが充実しており、社内人員のみで業務を遂行することにより、経費等を削減することができる見込みであることを確認している。なお、低入札価格調査を通して、落札者が確実に業務を遂行できることを確認している。</li> <li>・ 契約時期や社会情勢によるが、受注者は、今回の契約に際し、CADオペレータが充実しており、他の業務を持ちながら、本業務を実施しても人件費等、必要な費用を確保できると判断したものと考えられる。</li> <li>・ 会社が「土木設計」の認定を受けていることを資格要件としており、CADオペレータには求めている。</li> <li>・ 過去の業務実績について、品質管理、行程等に問題はなかった。現在も業務の進捗などを見ているが特に問題はない。</li> <li>・ 予定価格の算出は、公表している調査等積算基準に基づいて行っている。なお、調査等積算基準にない項目は、複数者から見積りを徴取して歩掛を設定し公表</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>入札結果等は公表しているか。</li> </ul>	<p>している。従って、本業務の予定価格は適切に設定しているものと考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公表している。</li> </ul>
<p><b>④条件付一般競争（令和6年度神戸管内トンネル誘導表示設備他更新工事）</b></p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>特殊性のない一般的な工事ということだが、競争が働かず、協議合意に移行したことについてどう考えているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加条件を満たす業者数が20者以上あることや、実際に広告資料をダウンロードした業者も10者程度あったことを把握している。しかし、技術者の配置ができないなどの都合で2者しか参加しなかったと思われる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>難易度が低い工事であれば、2者の入札は少ないように思われる。可能であれば、ヒアリング等も行っていたきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今回の参加条件を満たす業者数が20者以上あり、もう少し、参加者があると想定していた。ヒアリングの実施については、競争性を確保するという観点から、考えていきたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>技術評価点が2者とも低いようだが。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>難易度の低い工事で技術的な課題が少なく、加点対象となる項目が少なかった。</li> </ul>
<p><b>⑤公募型プロポーザル（神戸管内陸上部橋梁（淡路IC～津名一宮IC間）耐震補強設計業務（その1））</b></p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>業務の理解度で評価点に差がついているようだが、評価内容はどうなっているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的、条件、内容、成果の4項目について記載され、その記載内容に基づいて評価する仕組みとなっている。</li> </ul>
<p><b>⑥グループ会社契約（令和6年度坂出管内長大橋機能保全業務）</b></p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>特になし</li> </ul>	
<p><b>⑦子会社の外注の状況（門崎高架橋3径間管理路更新工事）</b></p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>特になし</li> </ul>	